# 教育・研究等業績一覧

| 履歴 | | | |
|---|---|---|---|
| フリガナ | フタツキ　ヒロシ | 所属 | 農学ビジネス学科 |
| 氏名 | 二木　浩志 | 身分 | 教授 |

## 学歴

| 年月 | 事項 |
|---|---|
| 1979 年 4 月 | 酪農学園大学　酪農学部　酪農学科　入学 |
| 1983 年 3 月 | 酪農学園大学　酪農学部　酪農学科　卒業　農学士 |

## 職歴

| 年月 | 事項 |
|---|---|
| 1983 年 4 月 | 農業経営　厚沢部町で就農 |
| 1985 年 4 月 | 北海道大野農業高等学校　教諭 |
| 1986 年 4 月 | 北海道静内農業高等学校　教諭 |
| 1993 年 4 月 | 北海道大野農業高等学校　教諭 |
| 2005 年 4 月 | 北海道士幌高等学校　教頭 |
| 2007 年 4 月 | 北海道美幌農業高等学校　教頭 |
| 2009 年 4 月 | 北海道帯広農業高等学校　教頭 |
| 2011 年 4 月 | 北海道幌加内高等学校　校長 |
| 2014 年 4 月 | 北海道静内農業高等学校　校長 |
| 2016 年 4 月 | 北海道帯広農業高等学校　校長 |
| 2021 年 4 月 | 拓殖大学　北海道短期大学　農学ビジネス学科　　教授　採用 |

## 教育業績

### 1　担当授業科目（2023 年度）

| 科目名 | 出講場所 | 期別 | 曜日 | 時限 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 畑作物生産学 | 201 教室 | 前期 | 火 | 3 | |
| 畑作実習 | 実習棟、圃場 | 通年 | 月 | 4・5/3・4 | 前期/後期 |
| 農業基礎実験・実習 | 作物実験室、圃場 | 通年 | 火・木 | 4・5 | |
| 農業研修　1 年 | 201 教室 | 後期 | 火 | 3 | |
| 農業研修　2 年 | 201 教室 | 前期 | 木 | 3 | |
| 1 年ゼミナール | 203 教室　等 | 通年 | 水 | 3 | |
| 2 年ゼミナール | 203 教室　等 | 通年 | 水 | 4 | |
| キャリアスキル | 202 教室 | 通年 | 月 | 1 | |
| 卒論演習 | 203 教室、圃場等 | 通年 | 随時 | | |

| | |
|---|---|
| 2　現行授業の目標と教育効果及びそれに対する自己評価<br><br>（記述式：900 字以内） | 1）授業の目標と教育効果<br>畑作物に関わる用語を理解し、生産現場で活用できるようになると共に、栽培管理の要点と課題を知り、栽培特性を理解できた。実習も一緒に履修している学生は、圃場において栽培管理、調査研究のデーター取得にも取り組み、実践をとおして理解を深めることができている。<br><br>2）自己評価<br>栽培実践事例を紹介し、自身の地域で活用できる事例を学生が選択することができる能力を身に付けられるよう指導したい。 |
| 3　学生による授業評価も踏まえ、教育改善への取り組み<br><br>（記述式：900 字以内） | 1）現状説明<br>座学では、プリント配布とパワーポイントによる講義を展開し、取り組みやすい状況を作った。<br>毎時間小テストを実施し、授業の振り返りができるようにした。<br>学生個々の能力差があり、進度の調整が必要と考える。<br><br>2）改善への取り組み<br>栽培特性や管理技術、作物の品種等で最新情報を紹介できるよう、講義資料の準備に取り組む。<br>ポイントを絞り込んだ講義内容とし、小テストは今後も継続実施する。 |
| 4　教科書、教材の作成状況<br><br>（記述式：300 字以内） | 教科書として<br><br>教材は、毎授業時に講義概要を記した資料を配布し、パワーポイントによる資料で説明している。授業終了時に小テストを実施し、振り返りができるよう努めた。 |
| 5　学生の指導（課外活動・厚生補導等）<br><br>（主要 10 件以内） | 2021 年度～　卓球部　顧問<br>2023 年度～　卓球部　顧問、野球部　顧問 |
| 6　その他<br><br>（主要５件以内） | 2021 年 10 月 12 日　宮城県伊具高等学校　魅力化講演会　講師<br>2022 年 6 月 31 日～7 月 1 日　学校農業クラブ南北海道連盟　意見発表大会　審査員Ⅱ類審査長（とわの森三愛高）<br>2022 年 7 月 9 日　深川市民公開講座　講師<br>2022 年 11 月 22 日　北海道大野農業高等学校　道南農業経営者育成対策協議会　農業講演会　講師<br>2023 年 1 月 19 日～20 日　学校農業クラブ北北海道連盟　実績発表大会　審査員Ⅱ、Ⅲ類審査長（剣淵高） |
| **研　究　業　績** | |
| 1　研究分野・活動<br><br>（記述式：350 字以内） | 畑作作物（小麦、ばれいしょ、豆類、てんさい等）の施肥管理に関する研究<br>豆類の栽植密度の違いによる管理および収量に及ぼす影響に関する研究<br>豆類の根粒菌混合肥料の施用による品質収量に及ぼす影響に関する研究 |

| | |
|---|---|
| 2　研究課題<br>（今後の展開・可能性を含む）<br><br>（記述式：350 字以内） | 環境保全型農業の在り方について研究する。畑作物生産における、施肥試験、高品質作物の生産技術、機械化等による労働時間の削減、てんさい等の栽培法の比較試験に取り組む。 |
| 3　研究助成等<br>（主要５件程度） | (1)文部科学省科学研究費<br><br><br>(2)学内<br><br><br>(3)学外<br><br><br> |
| 4　資格・特許等<br>（主要３件以内） | 高等学校専修免許状（農業）<br>食品衛生管理者<br>車両系建設機械運転免許<br> |

| 著書、学術論文、作品等の名称<br>（主要 15 件以内） | 単著<br>共著<br>の別 | 発行又は発表の年月 | 発行又は発表<br>雑誌等又は発表<br>学会等の名称 | 要　約 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

| 研究業績（過去３カ年分） | | | | 国際的活動の有無 | 社会的活動の有無 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 著作数 | 論文数 | 学会等発表数 | その他 | | | |
| | | | | 無 | 無 | |

## 学　内　運　営　業　績

| | |
|---|---|
| 1　役職、各種委員会等<br><br>（主要 10 件程度） | 2021 年 4 月～2023 年 3 月　入試・広報委員会<br>2021 年 4 月～　学生、地域国際交流委員会<br>2021 年 4 月～2022 年 3 月　実験実習農場安全部会<br>2023 年 4 月～　学生、地域国際交流委員長<br><br><br> |

## 学　外　活　動　業　績

| | |
|---|---|
| 1　本学以外の機関（公的機関・民間団体等）を通しての活動<br><br>（主要 10 件程度） | 2014 年 4 月～2016 年 3 月　北海道高等学校教育研究会　農業教科　部会長<br>2016 年 4 月～2021 年 3 月　北海道高等学校長協会　農業部会　副部会長<br>2016 年 4 月～2021 年 3 月　北海道産業教育振興会　理事<br>2017 年 4 月～2018 年 3 月　全国農業経営者育成高等学校研究協議会　理事<br>2018 年 4 月～2021 年 3 月　全国農業経営者育成高等学校研究協議会　副会長<br>2023 年 9 月～2025 年 9 月　深川市農業振興委員会委員<br><br><br> |
| 2　学会・学術団体等の活動<br>（主要 10 件程度） | 2016 年 4 月～2021 年 3 月　北海道総合農学研究会　会長　（会員加入継続）<br>2021 年 4 月～　日本作物学会北海道懇話会<br><br><br> |